

認知症マフ ワークショップ

イギリスの病院や高齢者施設では、認知症の人が毛糸で編まれた筒状のニット製品を利用しているのをよく見かけます。「Twiddle(手でいじる)muff」と呼ばれていて、ボタンやリボンなど様々なアクセサリが内外に付けられています。手を通した認知症の人がアクセサリに触れると、安心感が得られるそうです。

講師は広島県府中町で認知症カフェを運営する認知症サポートグループ「だんだん」のメンバーです。マフの基礎知識から制作、高齢者施設への贈呈までを学びます。またニット作家の能勢マユミさんの指導で、参加者全員にマフの編み方を体験していただきます。

マフ制作が認知症の人を支える地域づくりに役立つことを願っています。



日程 2019年 **10/5** [土] 14:00~16:00
会場 朝日新聞アサコムホール
(大阪市北区中之島2-3-18)

参加費
1,000円
(材料費含む)
定員:100人

主催  朝日新聞厚生文化事業団

プログラム

認知症マップとは (14:00~14:05)

朝日新聞厚生文化事業団大阪事務所長・山本雅彦

マップ製作について (14:05~14:20)

「だんだん」代表・伊東裕子さん

組織作りから贈呈まで (14:20~14:40)

広島県府中町社会福祉協議会 生活支援コーディネーター・檜山亮さん

***** 休憩 (14:40~14:50) *****

ワークショップ (14:50~16:00)

能勢マユミさん、「だんだん」のメンバー ※グループに分かれてマップ製作を体験します。

ワークショップ講師



ニット作家
能勢マユミさん



認知症サポートグループ
「だんだん」のみなさん

ワークショップ参加申込書

※複数で参加される場合は代表者のお名前だけ記入ください

ご職業、所属 (団体・会社名など)			
ふりがな 氏 名		性別	男・女
住 所	〒 _____		
電話番号		申込 人数	名

※ご提供いただいた個人情報は個人情報保護規定に従い、当事業団が主催するイベントに関する目的以外には使用しません。

上記申込書にご記入の上、このままファクスで送信してください。 **FAX 06-6231-3004**

ホームページ、Eメール、はがきでもお申込できます。

ホームページ <http://www.asahi-welfare.or.jp/>

Eメール apply-osaka@asahi-welfare.or.jp

はがき 〒530-8211 (住所不要)

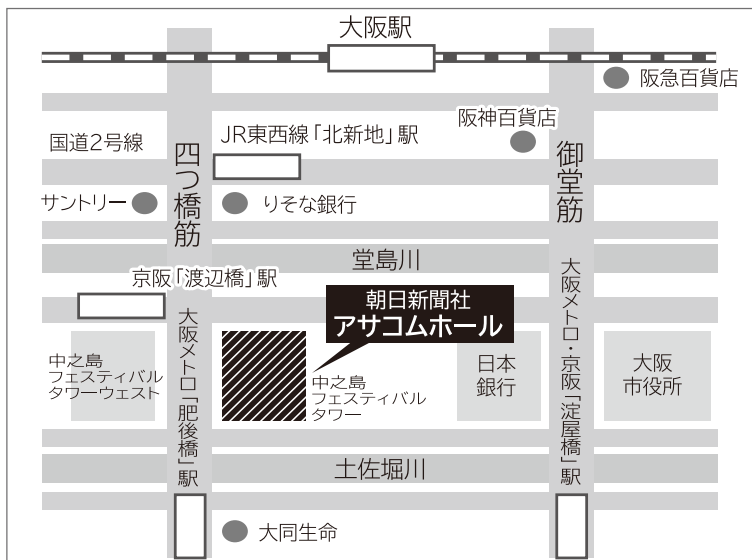
朝日新聞厚生文化事業団「認知症マップ大阪」係

※参加決定の方には聴講券を送付しますので、当日ご持参ください。

【会場】 朝日新聞社アサコムホール

大阪市北区中之島2-3-18 中之島フェスティバルタワー12F

- 京阪中之島線「渡辺橋」駅、大阪メトロ四つ橋線「肥後橋」駅と直結
- 大阪メトロ御堂筋線・京阪本線「淀屋橋」駅6番または7番出口から徒歩6分
- JR大阪駅桜橋口から徒歩11分
- JR北新地駅から徒歩8分



お問い合わせ 朝日新聞厚生文化事業団 電話06-6201-8008